

科目群	科目区分等	科目名	担当教員名	対象学年次	学期
専門科目	2単位 保育の対象の理解	子どもの保健 I B	小泉 武宣	1年次	秋

授業のキーワード	子どもとは？、愛着形成、成長・発達と成育、子どもの病気、子どもの権利条約、子ども虐待
授業の概要	母子保健の目的、健康の定義、ライフサイクルでみる子どもの捉え方、母子の精神保健、子どもの病気とその予防、子どもの権利条約と保育、子ども虐待の防止、子どもや親とのコミュニケーション
期待される学習成果（目標）	1. 子どもの成長・発達の理解 2. 子どもの病気とその予防についての理解 3. 子どもと親の関係性の理解と両者へのコミュニケーション能力の取得

## 授業展開

	テーマ	内 容		テーマ	内 容
第1講	母子保健の目的と子どもの捉え方	①母子保健の目的 ②ライフステージでみる子どもとライフサイクルでみる子どもの捉え方 ③子どもの誕生 ヒトから人へ	第9講	乳幼児の健康と病気	①子どもの状態の把握 ②乳幼児によくみられる病気
第2講	愛着の形成（アタッチメント、心の安全基地）	①周産期は愛着の曙である ②心の安全基地	第10講	感染症と予防接種	①乳幼児によくみられる感染症 ②ワクチンと 定期/任意予防接種スケジュール
第3講	母親の精神保健	①女性の健康管理 ②産後うつ病など	第11講	母子保健の主なる統計、子どもの事故	母子保健で日本はどのような位置にあるか ①母子保健の主なる統計 ②子どもの事故の現状とその予防
第4講	妊娠のメカニズム	①精子・卵子の形成と妊娠 ②不妊の頻度 ③生殖医療の進歩と注意すべき問題点	第12講	子どもの権利条約	①子どもの権利条約とは ②守られるべき子どもの権利
第5講	胎児の成長と発達 先天異常と児の受け入れ	①胎児の器官形成 ②先天異常について ③妊産褥婦の心身の変化	第13講	子ども虐待	①子ども虐待とは ②子ども虐待の実態 ③子ども虐待の予防
第6講	新生児の特徴（外界への適応）低出生体重児とは	①乳児の特徴 ②母乳育児の奨め ③育児不安へのサポートの大切さ	第14講	子どもの保健必修知識と考え方	①子どもの保健必修知識 ②子どもの保健に対する考え方
第7講	乳児期の育児の大切さ	①乳児の特徴 ②母乳育児の奨め ③育児不安へのサポートの大切さ	第15講	子どもに対する理解のプレゼンテーションと全体のまとめ	①子どもに対する理解のショートプレゼンテーション ②子どもの保健に関する全体のまとめ
第8講	乳幼児の生理と発達	①視覚、聴覚、運動、言語、行動、こころ等の発達 ②栄養管理 ③生活習慣の確立	定期試験		子どもと親に対する理解、子どもの保健必修知識に対するテストを記述式試験で行う。
評価方法		定期試験60%、レポートのプレゼンテーション40%、により総合的に評価			
使用する教科書（必ず購入してください）			参 考 文 献		
子どもの保健（改訂第2版）編著：渡辺 博、中山書店					